

平成 25 年度事業報告書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人
まちづくり機構ユマニテさが

1 事業の成果

平成 23 年 6 月 11 日、「わいわい!!コンテナ 1」でスタートした佐賀市街なか再生社会実験「わいわい!!コンテナ」プロジェクトは、拠点を「わいわい!!コンテナ 2」に移して 2 年目の本年、目覚ましい飛躍を見せた。まずは来場者数の伸びである。平成 23 年が 14,863 名（コンテナ 1）、平成 24 年度が 27,974 名、そして本年が 68,587 名という推移である。実に昨年の 2 倍以上の来場者数を記録した。しかもアンケート等を詳細に見ていくと、これまでほとんど街に来なかった人が街を訪れるようになっていたり、街を訪れる頻度が大きく増えたりしていることが伸びの要因であることが分かる。しかも滞在時間も長くなっている。こうした変化をもたらした要因はいくつかあるだろうが、ひとつには、コンテナスタッフの動きに負うところが大きいことは間違いない。樹木や花壇を徹底管理して快適空間の維持に努めたことや交流コンテナを使って週に数回行われるミニ講習会の開催、中心市街地内の各商店情報を収集しコンテナ掲示板への掲出、毎月発行の“コンテナ通信”の発行など、細かい動きが下支えとなっている。これに加えてサマースクールやオータムスクールなどのイベントを開催したことが要因である。

「わいわい!!コンテナ」プロジェクトは、空き地を活用したコミュニティ再生という街づくりの可能性を感じさせるものであり、全国的にも注目を浴びている。視察は年間 19 団体を数え、127 名の人を訪れた。本年度の特筆すべき報告として、まずはこのプロジェクトについて挙げたい。

その他「佐賀市街なか再生会議」で進めているプロジェクト関連では、「馬場正尊氏／オープン A」が旧美穂野をリノベーションした“開運さが恵比須ステーション”と“さがよかこの家”の開設が挙げられる。この 2 つの施設については、当機構が一括借上げをし、26 年度から管理していくことになる。“恵比須ステーション”については、街の賑わいづくりの貴重な拠点としての活性化を、また“さがよかこの家”については、佐賀大学の知(地)の拠点事業として街の活性化に向けた連携強化を図っていかねばならない。また、「山崎亮氏／スタジオ L」が 24 年 8 月にスタートさせた「街なか三日学校」は、今年度「街なかワークショップ」として形を変え、5 回のワークショップを実施、新たな参加者として呉服元町を中心に商店主や一般市民を加えた。この取組みから市民によるミニ講座（パーソナルカラー）が開催され、26 年 4 月、5 月に開催予定の企画が既に 3 本動き出している。このコミュニティ活動は、今はまだ小さな動きであるが、当機構がじつ

り育てていかなければならない大切な業務であると認識している。

その他、イベント事業については、例年実施している「インターナショナルバルーンフェスタ」、「佐賀城下ひな祭り」に合わせた街なか賑わいづくりイベント等無事に実施することができた。また昨年度スタートした「街なかバル」であるが、本年度も11月と3月に実施した。顧客、参加店の双方から好評であり、満足度の高いイベントとして定着してきた感がある。今後は、市外県外等へも広報を行い、いかに中心市街地内への来街者の増加につなげていくかが課題である。

また、「BOOK マルシェ」や「楠の杜手づくり市」、「ほとめきぶらり旅」等、年々質が向上しており、市民が心待ちにするイベントとして定着してきた。今後は、イベント毎に効果測定を徹底することで、来街者のニーズを的確に把握し、質の向上を図り、来場者数の大幅な増加を図りたいと考えている。

空き店舗等対策事業について、中心市街地内に3件の店舗を誘致することができた。この中で、7月審査で合格した「㈱レバレッジズ」は東京渋谷に本社を置くIT企業であり、労働者が増加することによって、街の賑わいに確実に寄与する業種業態として、これからのリーシングに新しい切り口となる事例となった。また、チャレンジショップ事業では2店舗入店し、そのうち1店が中心市街地内で独立開業を遂げた。

今年度を総括すると、街なか賑わいづくり事業と空き店舗対策事業に加え、わいわいコンテナ2などのコミュニティ育成事業の方向性が見えてきた1年といえる。

来年度は、この3本の柱がもっと強固なものになるようにブラッシュアップを図り、街なかの賑わいを図っていきたい。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

- ① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦ 中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡事業
- ⑩ 中心市街地の商業の充実を図るために事業
- ⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫ その他第3条の目的に達成するために必要な事業

その他の事業

- ① 駐車場業
- ② 不動産仲介業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	街なかかわらばん発行事業 年に6回隔月に発行。街なかの動きや当機構の活動状況を広く知らしめることにより、中心市街地に対する市民の関心を醸成し、街なかへの来訪を促した。 各10000部を6回発行	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 4人	(D) 中心市街地に関するもの (E) 不特定多数	4,309
	ホームページ運営事業 街なかかわらばんとの連携を強化し、特に物件情報の提供に注力した。また、ホームページ上のフェイスブック表示に対し、細かなフォローを実施し、アクセス数の向上に努めた。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 2人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	331

	電波媒体による情報発信 ぶんぶんTVの「街なか情報」に数多く出演し、主にイベントの告知を中心とした広報活動を行った。その他コミュニティFMを活用した広報活動も行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 佐賀市。コミュニティFMは旧市街地・小城地区 (E) 不特定多数	567
②中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	街なか居住等事業 街なか居住に関して実践的に研究する佐賀大学都市工学系学生のためのシェアハウスの管理事業、また同じ建物にさが恵比須ステーションを開設し、街づくりの拠点施設として管理。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 来街者 (E) 不特定多数	597
	街なかいきいき活動拠点事業 「わいわいコンテナ2」を設置、市民がどんなイメージを持つかを検証するとともに、回遊性向上を図る社会実験を継続して行った。	(A) 4月～3月 (B) 松原二丁目 (C) 6人	(D) コンテナ来場者 (E) 約68,000人	20,202
	まちなか交流広場管理事業 街なか交流広場(656広場)の指定管理者として、施設を管理するとともに、イベント開催等活用促進を図った。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 4人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 不特定多数	2,704
③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	共通駐車サービス券事業 中心市街地の加盟駐車場で利用できる共通駐車券を活用して、商店街、個店、事務所へのアクセスを容易にし利便性を高めることが目的。参加登録駐車場を4か所増加させ利便性を高めた。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 共通駐車券を利用する店舗、事業所等、及び加盟駐車場の顧客 (E) 店舗事業所の顧客	2,198
④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	空き店舗調査事業 店舗誘致の受け皿となる空き店舗・空地の実態調査を行い、中心市街地の変化を時系列に把握するとともに、独立開業を志す人々へ情報を提供する基礎資料を随時更新作成した。さらに中央大通りの核店舗の間口の長さ調査も実施した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 4人	(D) 相談者、出店希望者 (E) 不特定多数	989
⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術	サガライトファンタジー 国際的な「インターナショナル・バルーンフェスタ」の開催に合わせて、市街地の各エリアを各団体が分担して飾り付けをする事業。当機構は6	(A) 平成25年10月30日～平成26年1月13日 (B) 中心市街地 (C) 6名	(D) 来街者 (E) 不特定多数	1,180

及び名物の 保存・育成 を図るため の事業	5 6 広場、コンテナ等を担当した。			
	BOOK マルシェ事業 本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。	(A) 11 月 9 日 11 月 10 日 (B) 松原二丁目及 び呉服元町 (C) 10 人	(D) 出店者・来店者 (E) 不特定多数	2,378
	ユマニテ杯ダンスバトル 昨年に続き第 2 回目を実施した。ダンス愛好の若者の発表の場を設けることで健全育成と来街者の増加を図った。	(A) 12 月 7 日 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) 出場者及び観客 (E) 約 300 人	1,377
	ほとめきぶらり旅事業 少人数による街なか再発見の旅プランを 2 コース各 2 回、延べ 4 コースで実施した。	(A) 3 月 21 日 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 県内外の応募者 (E) 34 人	662
	佐賀北高書道部揮毫会 中心市街地の女将さんで組織する「えびすめ会」との協働事業。全国コンクール18連覇の佐賀北高書道部のメンバーが、市民のリクエストを受けて揮毫するコミュニケーションイベントを実施。	(A) 6 月 2 日 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) 北高生及び観客 (E) 約 500 人	193
⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	Re-原っぱ芝張り 呉服元町のオギハラ跡地を緑化し、656 広場と連動させることでイベントをブラッシュアップする狙いで市民による緑化に取り組んだ。	(A) 5 月 18 日 (B) 呉服元町 (C) 5 人	(D) 一般市民 (E) 約 100 名	461
⑦中心市街地公共空地等の管理事業	唐人町緑道管理事業 緑地の清掃管理を行い、地域住民及び来場者に憩いの空間を提供した	(A) 通年 (B) 唐人二丁目 (C) 3 人	(D) 地域住民及び通行者 (E) 不特定多数	836
⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	未実施			

⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業	未実施			
⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業	エスプラッツ誕生祭 佐賀青年会議所とタイアップして実施。エスプラッツ南側道路では雑貨販売や縁日を開催。4日は雨天のため、ビンゴ大会をエスプラッツ北側アーケードで実施。	(A) 8月3日、4日 (B) エスプラッツ、白山 (C) 5人	(D) 祭参加者、観客、観衆 (E) 不特定多数	1,027
	さが街なか図書館 市街地の専門店8事業所に対して、当店の専門書をベースにしたミニ図書館を開設。利用者が店舗間を行き来する仕掛けづくりを企画した。	(A) 9月1日～1月31日 (B) 中心市街地全域 (C) 1人	(D) 来街者 (E) 不特定多数	981
	656キッズランド 656広場を中心にバルーンサテライト事業の一環として、子どもと親子づれをターゲットにしたイベント。	(A) 10月31日～11月4日 (B) 656広場周辺 (C) 3人	(D) 佐賀市民を中心にした来街者 (E) 不特定多数	519
	バルーンサテライト事業 松原神社では恒例の佐賀城下骨董市を開催、656広場では、街なか動物園、キャラクターショー、三夜待ナイトを実施し、バルーン期間中の街なかの賑わいを創出した。	(A) 11月2日～3日 (B) 中心市街地内 (C) 7人	(D) 県内外のバルーンの観客 (E) 不特定多数	400
	サガン鳥栖サガンフェスティバル サガン鳥栖の全選手、監督、コーチを交えて、キックターゲットや抽選会、トークショー、おしるこ振る舞い等を実施	(A) 12月14日 (B) 656広場周辺 (C) 7人	(D) 県内外のサッカーファン (E) 1,500人	3,009
	第7回桶の杜手づくり市事業 全国の手づくり作家を迎えての手づくりアートフェスタ。第6回を迎え、市民にも出店者にも人気イベントとして定着してきた。	(A) 3月15日、16日 (B) 白山町八幡神社 (C) 7人	(D) 県内外から出店の54店、及び来店者 (E) 約4,000人	3,312

	<p>公募型空き店舗対策事業 年間を通して出店者を募集し、審査を行い、合格者に対して一部改装費補助を行った。</p>	<p>(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 3人</p>	<p>(D) 中心市街地で出店を希望する者 (E) 不特定多数(審査の結果出店に至った者4店舗)</p>	13,102
	<p>商業者育成事業 独立開業を志す起業家に、1年間の実施トレーニングを施し、本格出店の後押しをする事業。2店舗が出店した。</p>	<p>(A) 通年 (B) 唐人一丁目 (C) 3人</p>	<p>(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者 (E) 出店者2店舗</p>	8,140
	<p>街なか・玉屋わくわくランド わいわいコンテナを拠点に、子どもたちを対象としたイベント(カブトムシつかみどり、ヤマメつかみどり等)を実施し、街なかの賑わいを創出した。</p>	<p>(A) 5月3,4,5日 (B) わいわいコンテナ (C) 7人</p>	<p>(D) 一般市民 (E) 350人</p>	661
	<p>アジアンフェア・牛津高校ファッションショー ひな祭りサテライトイベントとして656広場で開催。多くの来街者で賑わった。</p>	<p>(A) 26年3月1,2日 (B) 656広場 (C) 2人</p>	<p>(D) 来街者 (E) 300人</p>	281
	<p>商店街魅力づくり事業 わいわいコンテナを拠点に、子どもたちを対象としたイベント(リース製作等)を実施し、街なかの賑わいを創出した。</p>	<p>(A) 12月9日、22日 (B) わいわいコンテナ (C) 7人</p>	<p>(D) 一般市民 (E) 160人</p>	4,834
	<p>佐賀市街なかバル事業 中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。街なかの店を多くの人に知ってもらい、最終的に活性化に結びつけること。また、イベント会場を複数店舗とすることで、経営者の意識改革を図り、回遊性を向上させることを目的に実施した。</p>	<p>(A) 11月2、3日 3月1日、2日 (B) 中心市街地内 (C) 6人</p>	<p>(D) 一般市民 (E) チケット 1回目 1300人 2回目 1300人 合計 2,600人</p>	694
	<p>ダンスコンテスト ひな祭りの最終イベントとして本年初めて取り組んだイベント。市内の2つのダンススタジオのメンバーを中心に、他県のダンサーも参加してのストリートダンスコンテスト。</p>	<p>(A) 平成26年3月22日 (B) 中心市街地内 (C) 2人</p>	<p>(D) 一般市民 (E) 100人</p>	233

	高校総体おもてなし冊子 高校総体で佐賀市を訪れる県内外のための市街地の飲食を中心にしたガイドブック。来街される方に対し、中心市街地の店舗の利用促進が目的。	(A) 平成25年8月5日 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 一般市民 (E) 不特定多数	3,329
	わくわくクーポン券事業 毎年嘉瀬川河川敷で開催される熱気球大会に車で来場する方を、佐賀市の中心部に誘導する手法としてクーポン券を渡し、市街地で買い物をしてもらい、中心部の商業の活性化を図る。	(A) 11月～12月 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 車で会場を訪れる気球大会の観客及びクーポン券利用店舗 (E) 約1,000人(販売枚数より推定)	687
	銀天夜市協賛事業 中心商店街の夏の夜の風物詩となっている銀天夜市を、地元商店と共催でカラオケ大会等を実施し、賑わいづくりを支援する	(A) 7月6日～7月27日の全土曜日4回 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 一般市民 (E) 出場者及び観客約2,200人	121
	えびすビアパーティー えびすビールと佐賀の恵比須像を関連付けて、市民の関心を中心市街地へ向けさせること、及び参加者同士のコミュニケーションの活発化を図った。	(A) 7月24日 9月18日 (B) 呉服元町 (C) 7人	(D) 一般市民及び協賛店舗 (E) 参加者約1,000人	1,842
	入店誘導促進事業 1年間の家賃助成や店舗の転貸を行い、中心市街地への出店を誘導した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 転貸借2事業所	(D) 中心市街地に出店を考える事業者 (E) 転貸者2件	4,557
⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	魅力アップリーディング事業 空き店舗の情報収集や経営相談、街なかで活動する市民の組織化と側面等を行う	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に出店を考える起業家、事業者、市民活動団体及び個人 (E) 不特定多数	5,146
⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業	のまん缶太事業 飲料水の街づくり支援自動販売機を4台設置し、来街者の利便性向上を図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 一般市民 (E) 不特定多数の購買者	265

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	支出額 (千円)
① 駐車場業	えびす駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原一丁目・ (C) 2人	18,762
	佐野駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	271
② 不動産仲介事業	未実施		0